

# 性能向上と住まいのこれから

2013年9月2日（月）

13:30～17:00

会場：北海道大学百年記念会館

定員80名 | 予約不要 | 参加無料

北海道の住宅は積雪寒冷な気候への対応が本格的に始まった昭和30年代以降、日本の中でも独自の進化をたどってきました。このセミナーでは何がどう変わってきたのか、満たされたもの、足りないもの、などその概観を整理し、住まいが今後目指すところとそこに至るまでの道筋について、専門家と市民がともに考えるセミナーを開催します。

趣旨説明：谷口 尚弘（北海道工業大学准教授）  
司会：真境名達哉（室蘭工業大学講師）  
副司会：山崎 正弘（MY建築設計支援室）  
記録：立松 宏一（北方建築総合研究所研究主任）



会場までのアクセスには公共交通機関をご利用ください

## 問い合わせ

E-mail: tatematsu@hro.or.jp  
TEL: 0166-66-4235  
北方建築総合研究所・立松

## 13:30 開会

開会挨拶：松村 秀一

（住まい・まちづくり支援建築会議  
運営委員会副委員長・東京大学教授）

## 13:40 話題提供



福島 明

（北方建築総合研究所副所長）

断熱性能向上と居住空間の変化



南 雄三

（住宅技術評論家）

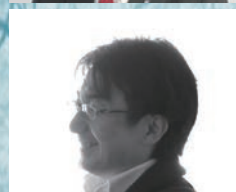
資産価値で評価する省エネルギー



中岡 正憲

（北海道建築指導センター理事長）

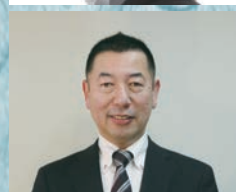
「北方型住宅」が目指す住まい



小倉 寛征

（Sa design office 一級建築士事務所）

住宅設計の立場から見た性能向上



紺野 宏

（紺野建設代表取締役）

つくり手の立場から見た性能向上

## 15:40 討論



コメンテーター

絵内 正道

（北海道大学名誉教授）

同時開催（展示ホール：セミナー当日のみ）

写真展「北海道の住宅の歩み」